

小美玉市の平成26年度予算について

まず、本市を取り巻く我が国の経済については、デフレ不況からの早期脱却と経済再生を図るため「三本の矢」と言われる金融・財政・民間活用政策いわゆるアベノミクス政策が強力に推進されてきました。その効果も徐々に始まり、経済は着実に上向いてきており、これらの取組みにより、税収や保険料収入の基盤でもある強い経済を取り戻し、あわせて消費税率の引き上げにより、社会保障の安定財源を確保しつつ、持続可能な社会保障制度を構築し、次世代に引き継いでいくこととしているところです。

本市としても、引き続き国の各種政策に臨機に対応できるよう、絶えず情報収集に努め、地方財政にとって有利な財源についても、積極的に活用してまいります。

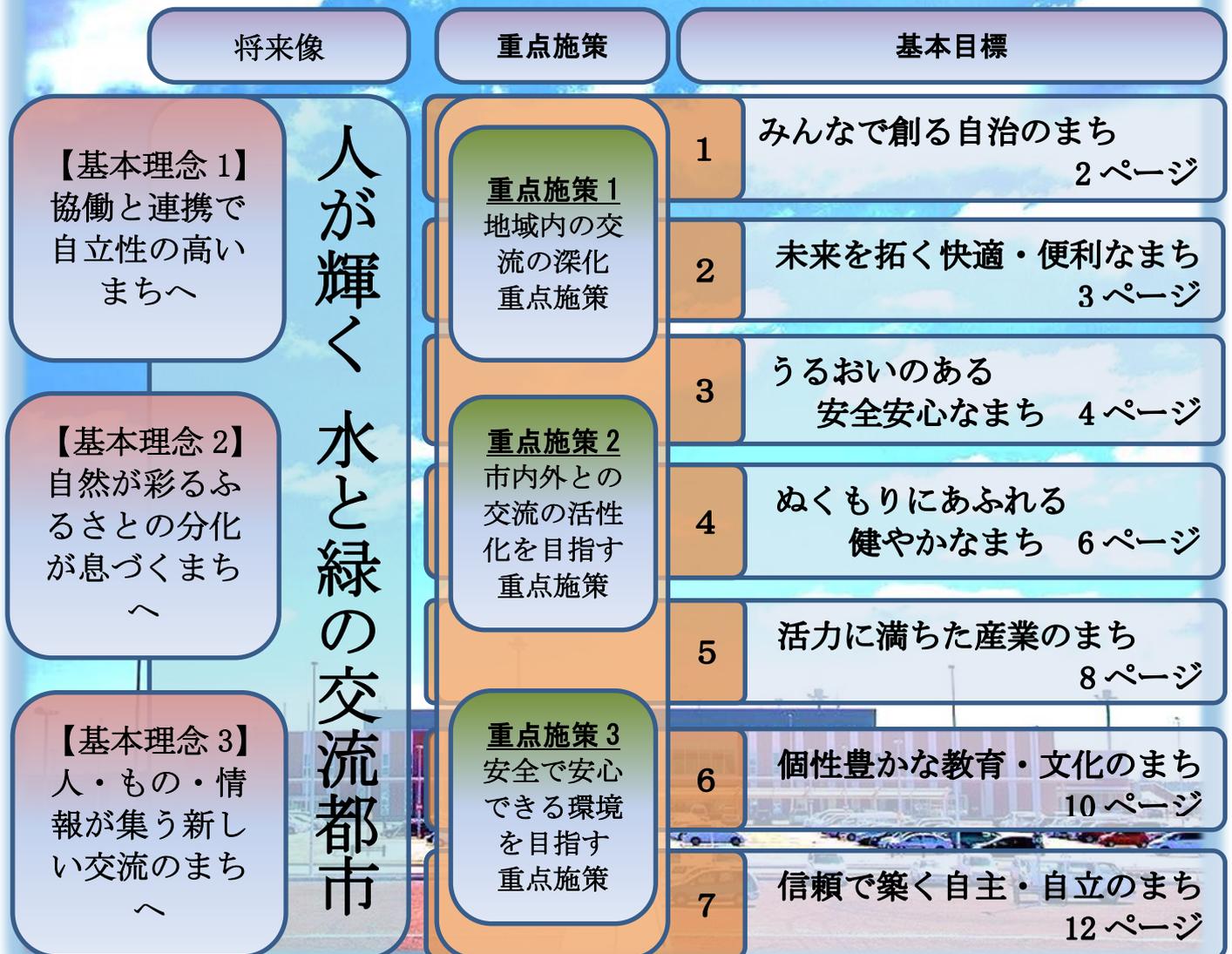
さて、本市歳入予算でございますが、その根幹を成す市税収入は、国の政策効果もあり前年度より4.7%の増額と見込んでおります。

一方、歳出については、民生費、教育費、公債費などの義務的経費の大幅な増加が避けられない状況にもあります。

平成26年度予算編成にあたりましては、本市総合計画の将来像である「人が輝く水と緑の交流都市」を実現するため、市民の交流基盤の強化とともに、市の一体化や都市としての機能の向上、活力にあふれた安全安心のまちづくりなど、引き続き更なる復興と経済成長を図るべく、重点的かつ積極的な予算編成を行いました。

以上の結果、平成26年度小美玉市一般会計の予算規模は、総額233億1,400万円となり、前年度当初予算より、6.1%増の予算となりました。

この資料では、総合計画に掲げた基本目標ごとに新規事業や拡充事業を中心として予算の一部を紹介します。



1 みんなで創る自治のまち

特徴と取組

「新しい公共」の考え方にに基づき、市民と行政とが互いに協力しながら責任を持ってまちづくりを行う、市民協働の展開を図ります。また、国際化に対応した人づくり、まちづくりとして姉妹都市交流事業等を展開しています。さらに、市民主体で運営する市民交流事業の充実化を目指します。



コミュニティ組織の活動風景

実施事業

02-01-10-04 予算説明書P 28

○まちづくり組織支援事業【拡充事業】

7,000千円【拡充：まちづくり認定団体13団体増】

市民活動団体の自治力向上と地域活性化を図るため、まちづくり審査会において認定した、まちづくり組織（市民活動団体）に対して、事業補助を行います。平成26年度は42団体（平成25年度は29団体）の登録を目指します。

02-01-10-02 予算説明書P 28

○国際交流推進事業【継続事業】

600千円

姉妹都市であるアメリカ合衆国カンザス州アビリン市との青少年訪問団相互交流事業をはじめとした多様な国際交流活動に対し助成金を交付します。平成26年度は本市に留学生を受け入れる年です。



盛んな国際交流

02-01-10-01 予算説明書P 28

○ふるさとふれあいまつり事業【継続事業】

9,000千円

市全体の一体感の醸成と市民相互のこころのふれあいや地域文化の高まりを求めて、ふるさとふれあいまつりを実施運営する実行委員会に補助金を交付します。約2千人が参加する踊りの輪は県内随一の大きさです。



盛大なふるさとふれあいまつり

02-01-06-02 予算説明書P 15

○男女共同参画推進事業【拡充事業】

876千円【拡充：男女共同参画フォーラムを開催】

男女共同参画推進委員会による啓発・推進活動経費及び小美玉ハーモニー連絡会での女性団体連携強化と啓発を推進するためにフォーラムを開催します。

2 未来を拓く快適・便利なまち

特徴と取組

広域及び市内地域間の交流と連携を強化するため、広域幹線道路と市内幹線道路の良好な道路ネットワークの構築を目指すとともに、交通弱者に配慮した安全快適な道路環境の整備に努めます。また、公共交通網を充実させるために、鉄道やバス路線の維持はもちろんの事、平成25年10月よりスタートした市内循環バスがより一層地域に馴染めるよう、様々な案件に取り組んでいる状況です。さらに防災拠点となる公園や市民霊園の増設など、必要とされる施設を計画的に整備します。



循環バス運行開始式の様子

実施事業

霊園会計

○霊園整備事業【継続事業】

102,362千円(特定財源：霊園事業債102,100千円)

高齢化や核家族化の進展に伴い、本市も墓地の需要が増大しており、これらのニーズに対応すべく霊園を増設します。平成26年度完了予定です。

08-04-01-02 予算説明書P72

◎都市計画図作成事業【新規事業】

64,084千円【新規：都市計画図作成委託料(1/2,500の精度でDM化により整備)】(特定財源：合併推進体制補助金60,000千円)

都市計画基本図は、基盤地図情報項目を多く得ており、国土地理院の原点データにもなっていることから重要な測量成果です。基盤地図情報の整備・更新では、都市計画基本図に依るところが大きく、電磁的整備は重要な役割となります。

本市の都市計画基本図は、最終修正から10年以上経過(旧小川町H6,旧美野里町H13,旧玉里村H11)し、道路や建物等の地形地物は現況と大きく相違しています。また、図が紙管理のため、在庫管理や保管スペースの確保、紙の劣化など非効率・非経済的なものとなっています。都市計画図の新規図化をDM手法により整備することで、業務の効率化・高度化、さらにはデータの一元管理によるコスト削減を図ります。

08-02-03-04 予算説明書P76

○広域幹線道路整備事業【継続事業】

807,924千円(特定財源：社会資本整備総合交付金139,750千円・道整備交付金167,000千円・合併特例債476,400千円)

小川・美野里・玉里地区それぞれを結ぶ幹線道路を整備する事により、地域間の連携が強化されます。交通アクセスの向上を活かした地域振興のために引き続き、田木谷上玉里線や(仮称)栗又四ヶ線、羽鳥宿張星線などの広域幹線道路を整備します。



市民霊園

3 うるおいのある安全安心なまち

特徴と取組

かけがえのない自然環境を次世代に継承するため、温暖化対策やごみの減量化・資源化に取組み、将来にわたって環境負担の少ない循環型社会の形成を目指します。また、防衛施設との共存を目指し、基地周辺の生活環境の整備や民生安定の向上に努めます。さらに消防・救急体制を充実させ、防災・交通安全・生活安全対策を推進して住民の安全を確保します。



玉里地区から望む霞ヶ浦

実施事業

04-01-06-03 予算説明書P34

○住宅用太陽光発電システム設置補助事業【継続事業】6,000千円



太陽光発電（イメージ）

地球温暖化の進行により環境問題が深刻化し、その原因となる二酸化炭素の排出をできるだけ抑える「低炭素社会」への転換が急がれています。太陽光発電は二酸化炭素や有害な排気ガスを発生させないクリーンなエネルギーであり、一般家庭でも導入できることから、個人が自らの意思で進められる環境保全へつなげる事が出来ます。補助金交付時に市内に住所を有し、自ら居住する住宅（店舗等の併用住宅を含む）に設置した場合又は自ら居住するために市内に住居を取得し設置する場合にkwあたり3万円で、上限10万円の補助金を交付いたします。（10kw未満の新品に限る）

02-01-16-02 予算説明書P80

○再編交付金事業【継続事業】

270,935千円（特定財源：再編交付金191,829千円・まちづくり基金繰入等3,760千円）

再編交付金は、新しい訓練や施設建設等、在日米軍の再編計画に関係する自治体に対し、交付される交付金で「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」（10年間の時限立法）に定められています。対象市町村の公共用の施設の整備その他の住民生活の利便の向上及び産業の振興に寄与する事業に充てることが出来ます。本市は、平成19年度より対象自治体として交付を受け、対象地区の道路や公民館の整備事業等を行っています。

02-01-13-02 予算説明書P11～12

◎防災力強化事業【新規事業】

71,501千円【新規：再生可能エネルギー導入設置工事】（特定財源：市町村再生可能エネルギー導入推進事業補助金71,000千円）

市内指定避難所に太陽光発電と蓄電機が一体となったLED照明灯を設置します。これにより、大震災のような大規模停電時でも避難所には明かりが灯り、安心して避難できるようになります。

02-01-13-02 予算説明書P11

◎ハザードマップ整備事業【新規事業】

5,098千円【新規：ハザードマップ20,000部作成】（特定財源：災害対策基金2,000千円）

本市は、茨城県により土砂災害警戒区域等の指定を受けており、地震や大雨時に迅速かつ円滑な避難指示及び行動が必要不可欠となっています。水防法に基づく浸水想定区域や避難施設を印刷した「防災対策の基本情報」として全戸に「土砂災害等ハザードマップ」を配布します。

08-04-03-03 予算説明書P74

○(仮称)宮田防災公園施設整備事業【継続事業】

255,287千円（特定財源：民生安定施設整備事業補助金170,035千円・合併特例債65,500千円・復興まちづくり基金繰入金16,000千円）

地域住民が日常的に憩える交流の場として、また、大規模自然災害時の一時避難場所及び広域災害活動拠点として防災機能を持つ公園を整備しています。総面積約30,000㎡の広大な敷地には2千人以上避難が可能です。

09-01-03-01 予算説明書P84

○消防団車両整備事業【継続事業】

45,000千円（特定財源：基地周辺施設整備補助金7,000千円・消防ポンプ自動車整備事業債35,500千円）

市内には規模の大きな工場や茨城空港などがあります。このような施設から、万が一火災が発生した際には、地理に精通し、機動力を備えた消防団の活躍が大いに期待されます。各消防団に配備されている車両は、使用頻度も高く、消耗著しい状態です。消防力の更なる充実強化のため、消防団消防ポンプ自動車を順次更新します。



出初式の様子

09-01-01-10 予算説明書P83

○茨城消防救急無線・指令センター運営協議会負担金【継続事業】

107,044千円（特定財源：緊急防災減災事業債106,600千円・公共施設整備基金繰入金1,848円）

電波法改正により平成28年5月31日までに消防救急無線をアナログからデジタルへ移行しなければなりません。この移行作業を市単独で行うと多額の費用が必要になります。各市町村の財政負担を軽減するため、茨城県及び各消防本部は、茨城消防救急無線・指令センター運営協議会（法定協議会）を設立し、広域・共同化により効率的な整備を進める事としています。整備事業は平成25年からスタートし、平成28年で完成いたします。

4 めくもりにあふれる健やかなまち

特徴と取組

地域において安心して子どもを産み育てることができるまちを目指し、市民のライフスタイルに即した保育サービスや、地域ぐるみの子育て環境の充実を推進します。また、児童虐待への対応、出会いの場の創出など、子育て支援と一体となった少子化対策を積極的に推進します。さらに、子どもの健やかな心身の育ちと、安心して子育てができるよう、きめ細かな母子保健の充実を図ります。市民の誰もが心身ともに健康でいきいきと暮らせるように、ライフステージに合わせた健康づくり事業の充実をめるとともに、健康維持・増進・健康管理を目的とした保健サービスの充実を図ります。



惜しみない子どもへの声援

実施事業

03-02-01-07 予算説明書P59

◎子ども・子育て支援事業計画策定事業【新規事業】

3,071千円【新規：子ども・子育て支援事業計画策定業務委託、策定委員謝金等】

子ども子育て支援給付及び地域子ども子育て支援事業の円滑な実施の確保と、その他の子育て支援のための施策を総合的に推進するために、五年を一期とする実施計画を策定します。（教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保など）

10-01-04-01 予算説明書P90

○放課後児童対策事業【継続事業】

94,522千円(特定財源：放課後児童クラブ保護者負担金等16,314千円・健全育成事業県補助金40,437千円)

共働き等の保護者が安心して就労できるよう放課後等に児童の居場所を設置し、子育てを支援することを目的としています。小学校の余裕教室または専用施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域ボランティアとの交流を推進しながら、スポーツや学習・体験活動などを行っています。



放課後児童教室の様子



乳児診察の様子

03-01-06-02 予算説明書P39

○医療福祉扶助事業【継続事業】

320,863千円(特定財源：医療福祉県補助金123,448千円・高額療養費返納金36,536千円)

茨城県の制度により、妊産婦・小児・重度心身障害者・母子家庭及び父子家庭の親子を対象に医療費を負担軽減します。また、小児においては、市単独事業の特例制度を設けており、さらには、平成25年10月からは、中学校3年生までの児童等への市単独事業拡大を実施しました。

03-01-01-08 予算説明書 P 47

◎臨時福祉給付金事業【新規事業】

147,169千円【新規：臨時福祉給付金等】（特定財源：臨時福祉給付金事業補助金147,169千円）

平成26年4月から消費税率が8%へ引き上げられますが、所得の低い方々への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を支給する予定です。この事業は全額国庫補助で行われます。（支給対象者1人につき10,000円給付予定）

03-02-01-08 予算説明書 P 59

◎子育て世帯臨時特例給付金事業【新規事業】

61,281千円【新規：子育て世帯臨時特例給付金等】（特定財源：子育て世帯臨時特例給付金61,281千円）

平成26年4月から消費税率が8%へ引き上げられますが、子育て世帯の影響を緩和し、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な給付措置として行うものです。

また、児童手当の上乗せではなく、臨時福祉給付金（簡素な給付措置）と類似の給付金として、これと併給調整をして支給するものです。この事業は全額国庫補助で行われます。（支給児童1人につき10,000円給付予定）

04-01-04-02 予算説明書 P 44

◎保健相談センター整備事業【継続事業】

104,910千円（特定財源：民生安定施設整備事業補助金53,205千円・合併特例債49,100千円）

高齢者や障害者が安心して利用できる保健福祉施設を目指し、大規模改修を行います。現在2階への昇降が階段のみでしか行えないため、各種健診や福祉事業に不便をきたしている状態です。利用者の利便性を向上させるためにもエレベーターを新設します。

04-01-03-03 予算説明書 P 44

◎健康づくり推進事業【拡充事業】

4,414千円【拡充：健康増進計画策定業務委託】

食生活改善推進員の育成と養成を実施し、市民の食生活改善や食育の推進等、地区組織活動を強化します。食育研修会や食生活改善推進員要請講習などの食育に関する講習会開催し、地産地消・郷土料理の普及を含め、乳幼児から妊産婦、成人者や高齢者の健康維持のため、食生活改善・食育実践活動を推進します。



小学校における食育教室

03-01-03-01 予算説明書 P 47（障がい者福祉事務費）

◎障がい者計画・障がい福祉計画策定事業【新規事業】

4,521千円【新規：障がい福祉計画策定委託（アンケート調査含む）】

障害者基本法に基づく今後の障がい者施策の基本となる「小美玉市障がい者計画」及び障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの提供体制の確保等の方策を定める「小美玉市障がい福祉計画」を一体的に策定し、障がいのある方の生活支援を効果的かつ計画的に実施・推進します。

03-01-02-06 予算説明書 P 53（元気わくわく事業）

◎ひとり暮らし愛の定期便事業【継続事業】2,970千円

市内のひとり暮らしの高齢者の安否確認・健康保持・孤独感の解消を図ります。訪問員は、利用者宅に週2回以上乳製品（乳酸菌飲料等）を1日1本の割合で配達をし、利用者が最近不在等の異常が認められた場合、民生委員・警察署等の関係機関に対して速やかに連絡をする事となっています。平成26年度は66,000本を配達予定です。

5 活力に満ちた産業のまち

特徴と取組

茨城空港を生かしたまちづくりを具現化するため、県などとの連携のもと茨城空港の利用客確保に努めるとともに、周辺地域への産業集積・商業活動の展開を図るとともに交流人口の拡大を目指します。また、農業振興については、担い手の育成と総合的な生産基盤の整備を図り、付加価値が高く農村環境に配慮した安全・安心な農産物の生産を推進します。さらに、市民の日常生活における利便性向上と地元商業の活性化を図り、魅力と賑わいのある商業環境の創出を目指します。そのためには、地元企業の安定的な操業の支援や交流の促進、新たな企業の誘致を推進し、市民生活を支える活力ある産業の創出を目指します。



いつも駐車場が満杯の茨城空港

実施事業

07-01-02-03 予算説明書P71

◎空の駅運営事業【新規事業】

54,900千円【新規：運営支援業務・設備管理委託、電気代等】（特定財源：使用料54,900千円）

茨城空港が開港し、1年間で約90万人の来場者があり、茨城県の新たな観光スポットとして賑わいを見せていますが、空港及びその周辺には、食事処やお土産販売店等が不足しているため、来場者への十分なおもてなしが出来ていない状況があります。そして、この来場者をいかに地域経済の活性化につなげていくかが重要な課題となっています。こうした課題を打開するため、市としましては、「地元が通過点とならないための対策」「茨城空港を核とした賑わい



空のえき そ・ら・ら 完成予想図



づくり」「地元ならではのおもてなし機能の充実」を目指し、茨城空港及び小美玉市の魅力や情報を発信する拠点として、また、「魅力的なまちづくり」の一翼を担う施設として「空の駅」を整備しているところです。平成26年度オープンに伴う事業運営や施設維持のための費用を計上しています。

06-01-04-01 予算説明書 P 64

○経営所得安定対策事業【継続事業】

113,051千円

経営所得安定対策に基づく米の需給調整の推進、水田農業の経営安定及び水田の有効活用を図るため、水田活用者に対し補助金を交付します。「需給調整円滑化事業」「農地流動化推進事業」「条件整備事業」の3つの補助金をそれぞれの対象事業者に交付することで、水田を活用し、国・県・市の食料需給率の向上のため戦略作物の生産振興を図ります。



市内の田園風景

06-01-03-03 予算説明書 P 64

○地産地消推進事業【継続事業】

5,000千円

本市の重要な地域資源である農林水産物を活用し、農林漁業者による新事業の創出や地域農産物の利用促進を図り、安心安全な農産物の提供と農業経営の安定化を目的として小美玉市地産地消促進計画に基づいて、拠点直売施設のネットワーク化と充実、学校給食での使用拡大、6次産業の創出・育成、市民農園・教育ファームの拡大、消費者交流を実施します。



レンコンの収穫の様子

07-01-01-03 予算説明書 P 69

◎暮らし向上魅力アップづくり事業【一部新規事業】

7,000千円【新規：商店街活性化対策補助金等】

景気回復に向かう市内の消費需要の喚起、個人消費や顧客の拡大により地域経済の活性化を図るために、商工会に対して、商店街空き店舗活用事業及び商品券販売事業に伴う費用の一部を補助します。

07-01-01-02 予算説明書 P 69

○おみたま産業まつり事業【継続事業】

4,000千円

本市産の農畜産物及び商工業製品の宣伝紹介と販売促進を行ない、顧客開拓など商業活動の活性化を図るために「おみたま産業まつり」を毎年実施しています。

市民には地場産品の良さと理解を深め、消費拡大を図るPR効果としての期待が大きく、市外からの来訪者に対しては本市のイメージアップを図ることによって、消費の拡大及び商業活動の活性化に寄与することが期待されます。地産地消の更なる推進を図るために産業まつり実行委員会に補助金を交付します。



盛況な産業まつり

6 個性豊かな教育・文化のまち

特徴と取組

学校教育においては、知（確かな学力）、徳（豊かな心）、体（健やかな体）のバランスがとれた教育を目指し、特色ある教育を推進するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進しています。幼児教育については、幼児の発達や実態に即した教育内容の充実に努めています。

また、いつでも、どこでも、誰もが、自分の自由な意思に基づいて、スポーツ・レクリエーションに親しむことや、自分に適した手段や方法によって生涯にわたって学ぶことのできる生涯学習社会の構築を目指します。

さらに、市民一人ひとりが、豊かでゆとりある文化的な生活を享受できる社会を目指し、誰もが気軽に真の芸術文化に触れ、市民が主体的に文化活動に参加できる環境の充実に努めます。

そして、青少年の健全育成を図るため、学校教育、家庭教育、社会教育の連携強化に努め、地域ぐるみの取組みを進めます。次世代を担う青少年が、夢と希望を持って心豊かにたくましく成長し、社会参加の促進を図るとともに、地域における子どもの居場所づくりを推進します。



AETによる英語教育

実施事業

10-01-03-08 予算説明書P88

○子どもを取り巻く環境改善支援事業【継続事業】

8,938千円(特定財源：地域生活支援事業費等(国・県)補助金2,211千円)

発達障害や不登校等の問題行動が懸念される児童生徒に対して、学校と保護者、医療機関等の専門機関との連絡調整を図りながら、より適切な支援を行い、もって児童生徒の健全育成に資するため、市の就学指導委員会に係る助言指導や生徒指導上の問題をもつ子どもの家庭への助言指導、適応指導教室相談員の研修支援などを行います。

10-02-03-01 予算説明書P94

○小学校建設事業【継続事業】

1,087,643千円(特定財源：学校施設環境改善交付金等225,925千円・合併特例債804,300千円)

学校施設は、児童生徒などの学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要であり、耐震化の推進が喫緊の課題となっています。「小中学校規模配置適正化基本方針」に基づき実施計画を策定し、通学区域の再編や学校の統合(再編)などの具体的な方針を定めるとともに、統合(再編)の対象となる学校跡地や施設整備の活用についても関係機関とともに調整を図りながら、有効な活用策を検討します。平成26年度は昭和41年に建築された、竹原小学校の改築を中心として、下吉影小学校の非構造部材耐震化実施設計等を行います。

10-05-01-02 予算説明書 P101

◎生涯学習推進計画策定事業【新規事業】

2,139千円【新規：生涯学習推進計画策定業務委託】

生涯学習の振興施策を推進し、学習機会の充実を図ることや、成果が社会に還元する仕組みを構築することにより、社会全体の教育力が向上します。

市民全体の生涯学習機会の充実を目指し、生涯学習に対する意識の啓発と学習環境づくりを推進するために計画を策定します。

10-05-01-03 予算説明書 P101

◎生涯学習センターコスモス20周年事業【新規事業】

3,500千円【新規：コスモス20周年事業補助金】

生涯学習センターコスモスの20歳を迎える誕生日当日に、コスモス及びその周辺において、一日ゆっくりと過ごせる各種イベントを開催します。イベントスペースでは夏祭りを連想させる各種の出店をはじめ、小・中学生等による鼓笛隊、ブラスバンドの演奏や、ハワイアンダンスやコーラスなどコスモスを拠点として活動している各種団体による競演があります。また、ホールにおいては創作劇や映画鑑賞会、保育園児等による合唱などを開催します。



コスモス20周年ロゴマーク

10-06-01-03 予算説明書 P106 (体育振興活動経費)

○「夢先生」派遣事業【拡充事業】

1,560千円【拡充：5校7クラスを12校18クラスに拡充予定】

子どもたちに夢を持つことの素晴らしさを学ぶことを契機として、スポーツに親しむことへの動機付け・興味関心づくりのために、JFA こころのプロジェクト「夢の教室」を活用し、元Jリーガーをはじめ、様々なトップアスリートを小学校に派遣します。(総合学習時間等 90分/回(クラス単位)で実施)



女子ラグビー日本代表候補を招いての「夢の教室」

10-06-02-07 予算説明書 P109

○小川B&G海洋センター改修事業【継続事業】

75,000千円(特定財源：社会資本整備総合交付金10,000千円・地域海洋センター修繕助成金24,400千円)

学校の耐震改築事業に伴い、老朽化した既設プールの廃止が相次ぎました。市内の一部小中学校ではプール事業継続のために、授業の場を小川B&G海洋センタープールに移して水泳授業を行っています。授業などが5月のまだ寒い時期から始まるため、既設のプール用ボイラー等を更新し、機能を修復して利用者の利便性を向上させます。

7 信頼で築く自主・自立のまち

特徴と取組

市民誰もがICT社会の恩恵を享受できるように、地域情報化を促進するとともに、市民サービスの飛躍的向上と行政運営の質的向上を図ることを目的に行政の情報化を推進し、電子自治体の構築に努めるとともに、分かりやすく親しみやすい広報広聴活動を進め、市民と行政との信頼関係を確立します。また、市民ニーズを反映した行政サービスの提供と安定した行財政運営を確保するため、計画的な財政運営、財政構造の弾力化に努めます。さらに、適正な定員管理を推進するとともに、多様な行政課題に対応すべく人材育成の強化に努めます。



市役所の窓口風景

実施事業

02-01-07-01 予算説明書P15

○行政情報ネットワーク管理運営事業【継続事業】58,868千円

全情報システムの基盤の効率化と安定稼働は、システム稼働のうえで欠かすことができません。管理業務は複雑・煩雑で専門技能が必要ですが、適正な管理業務の実施によって効率性や安全性が保たれています。経費節減しつつ安定稼働させるため、可能な限り再リースや指名競争入札による調達を実施します。

02-01-01-06 予算説明書P19

◎公文書データベース作成事業【新規事業】

9,130千円【新規：公文書データベース作成業務委託】（特定財源：緊急雇用創出事業補助金9,130千円）

公文書管理による説明責任の確保と文書管理事務の効率化のために、国の行政文書管理に関するガイドラインに準拠した公文書データベースを作成します。

02-01-02-01 予算説明書P13

○広報活動経費【継続事業】

7,454千円（特定財源：広告料等1,440千円）

本市の広報活動は、月1回発行している「広報おみたま」「広報おみたまお知らせ版」及びウェブページなどにより積極的に行政情報を提供しています。広報誌は市民に対する説明責任を果たし、市民と情報を共有することにより、市政への市民参加を促進するには非常に有効な手段です。

また、広報誌と連動してウェブページを活用することで、地域を越えた情報の提供・収集が可能になります。さらに、市からの情報は出来る限り広報紙に集約することで、経費の節減、事務の効率化を図ることができます。



広報おみたま2月号表紙